



やいはば 議会だよ



議員の活動

視察・研修を町政に反映 2

一般質問 町政を問う

図書センターの活性化策は 一般質問11議員 11

懇談会開催速報 23

201

2017.7.14

岩手県
矢巾町議会

矢巾東小学校マーチング
(関連記事…P24)

町政に反映

人口増加に向けた定住促進
ゆとりある居住区整備
バランスのとれた土地利用
(千葉県栄町)
(静岡県三島市)
(静岡県浜松市)

千葉県栄町は、2014年に日本創生会議が発表した消滅可能性が県内で一番高かったことを受け、婚活支援、出産費用支援、園児送迎サービスや起業支援などの支援を展開している。人口減少は、本町においても避けられないが、人口が減少し始めてからの対策ではなく、微増で推移している現在から対策を講じる必要があると感じた。

静岡県三島市は、南海トラフ地震に備えた地域づくり、ゆとりある田園居住区整備促進事業を展開しており、医大移転に向けた本町の開発の参考となる事例であった。

浜松市では、市主体で新たな工業団地を整備し、農業とバランスのとれた土地利用がなされている。本町でも秩序ある土地利用と変化するニーズへの対応を行う必要がある。



日程：平成28年8月2日～4日
 参加会派：やまゆり会 (3名)
 矢巾明進会 (2名)
 町民の会 (3名)

香川県三木町では、香川大学と連携したまちづくりを視察。「三木町まんて願大作戦」と名付けられた住民参加型の総合戦略、若者へのふるさと住民票制度の周知により、町のファン獲得に成功している。幸福度調査でも高い結果を出しており、本町と面積などの状況がほぼ同等であることから、担当者間の交流等を行うべきと感じた。

香川県小豆島町は、27年度の21世紀枠で甲子園出場を果たした小豆島高校野球部があり、町としての具体的な支援状況を視察した。全国大会出場校への競技力向上事業補助金を使用し、パブリックビューイングを行うなどの支援を行っている。不來方高校とは条件が異なるが、参考となる点が多かった。

大学と連携したまちづくり (香川県三木町)

甲子園出場への支援策 (香川県小豆島町)



日程：平成29年2月1日～3日
 参加会派：やまゆり会 (3名)
 矢巾明進会 (2名)
 町民の会 (3名)

視察・研修を

神奈川県寒川町議会のタブレット導入状況を視察。予算書と決算書のみ紙での資料配布を行っているが、導入後は資料の持参や整理保管のストレスが解消されたとの意見が多い。個人の経費負担は1議員あたり月に1500円とし、議会、町当局ともにコスト減と効率化に満足しているとの所感を聞いた。

鎌倉市議会でもタブレットを導入しており、経費は全て公費で負担している。タブレットは、議員が学習するツールとしても不可欠であると感じた。

国立国会図書館では資料請求方法や全国の図書館とのネットワーク化など、国立国会図書館の役割について理解を深めることができた。

タブレット導入自治体調査（神奈川県寒川町）
タブレット本会議を傍聴（神奈川県鎌倉市）
全国図書館とのネットワーク化（国会図書館）



日程：平成29年2月7日～9日
 参加会派：一心会（6名）
 公明党（1名）

視察以外の研修

開催日	テーマ	参加会派
平成28年4月6日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 統一的な基準による地方公会計の学習 ・ 公営企業会計の理解 	一心会 矢巾明進会 日本共産党 公明党
平成28年8月4日	<ul style="list-style-type: none"> ・ ホームページの作成ポイントとアピール方法 ・ インターネットラジオを防災等に活用する方法 	一心会 日本共産党 公明党
平成28年8月7日 ～8月8日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 住民自治を進める議会改革 ・ 住民自治を進める議員の役割 	一心会 矢巾明進会 公明党
平成28年8月25日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 空き家対策への取り組み ・ 指定管理者制度と公共施設 	一心会 日本共産党 公明党
平成28年10月3日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもの貧困から見る現代日本の貧困と差別 ・ 相模原障がい者殺傷事件に見る障がい者差別の構造 	町民の会

目的は

町政の発展

For YAHABA-town

政務活動費報告

平成
28
年度

政務活動費の収支状況

(単位：円)

会派名	一心会	矢巾明進会	町民の会	やまゆり会	日本共産党	公明党	
所属議員	山崎道夫 赤丸秀雄 昆 秀一 藤原梅昭 川村農夫 廣田光男	長谷川和男 齊藤 正範 村松 信一	高橋 安子 水本 淳一 廣田 清実	藤原 由巳 高橋 七郎 藤原 義一	小川 文子 川村よし子	米倉 清志	
収入	政務活動費 (①)	1,296,000	648,000	648,000	648,000	432,000	216,000
支出	調査研究費	306,017	315,740	468,810	468,520	0	51,003
	研 修 費	674,792	81,110	117,180	0	81,530	121,140
	会 議 費	0	0	0	0	0	0
	資料作成費	0	0	0	0	0	0
	資料購入費	0	0	0	0	0	0
	広 報 費	96,597	0	0	0	120,582	0
	事 務 費	0	0	0	0	0	0
	合 計 (②)	1,077,406	396,850	585,990	468,520	202,112	172,143
収支差引残額 (①-②)	218,594	251,150	62,010	179,480	229,888	43,857	

詳細は町ホームページでご覧いただけます。

政務活動費とは？

矢巾町議会では、地方自治法第100条第14項から第16項に基づく「矢巾町議政務活動費の交付に関する条例」を平成27年4月から施行し、調査研究等に必要経費の一部を交付しています。

交付額と交付方法

政務活動費は、会派に対して交付されています。

会派の所属議員数に月額を乗じた額を4月、10月にそれぞれ6カ月分ずつ交付します。

平成28年度は7月定例会で交付額の見直しを行い、議員一人あたり月額1万6000円に変更となりました。このため、前期分6カ月は月額2万円、後期分6カ月は月額1万6000円となり、議員一人あたりの年間交付額は21万6000円となります。交付を受けた政務活動費に残額が生じた場合は、町に返還されます。

町民の期待に応え、存在感のある議会へ

平成28年度に交付された政務活動費のうち、調査研究費として使用された金額は約161万円、研修費は約108万円でした。

この金額をご覧になって、町民の皆さまはどのように感じられたでしょうか。

矢巾町議会基本条例には、議会は「町民の多様な意見を十分に把握したうえで、町民の代表として公正かつ公平な議論、審議、審査等をし、意思決定をすること」が定められています。

「このお金は無駄だったので」など疑問を抱かせることのないよう、確実に町政発展のために寄与させていくことは議員としての責務でもあります。

町民の期待に応える議会作りを目指し、信頼される存在感のある議会を築くため、高い倫理的義務を深く自覚しながら、今後とも議員活動に取り組んで参ります。

体育館の雨漏り修繕 安心して利用できる施設に

補正予算

4月会議では、一般会計の補正予算が計上され、予算決算常任委員会に付託され審議を行いました。

審議の過程では、年度開始早々の補正予算計上に対する質疑があり、次の附帯決議を付して可決しました。

- ① 貴重な施設である町総合体育館を町民が安心して利用できるよう、現状の把握と早期対応に努められたい。
- ② 町内施設の実態調査を早急に実施し結果の公表を望む。
- ③ 当初予算審議を終えてすぐの補正予算計上という悪しき前例にならないよう、当初予算編成に当たっては情報の共有と慎重な検討をされたい。

これにより、一般会計の総額は107億5910万円となりました。

主な歳出

▼ 体育施設運営事業

5310万円

議会で決めたこと

平成29年定例会4月会議は4月28日に開催され、補正予算の議決を行いました。また、議会の2つの特別委員会の廃止について可決されたほか、各委員会委員の選任が行われました。



町民体育館では現在雨漏りのお知らせ看板が設置されている

雨漏りの認識は

質問 雨漏りの件は当初予算審議の際に分かっていたのでは。なぜ当初予算に計上されなかったのか。

回答 雨漏りで体育館の貸し出しができないほど緊急性が高いとは認識していなかった。今後は横の連携を密にし、報告・連絡・相談を徹底する。

決 議 案

共謀罪法案の撤回を求める意見書

「テロ等組織犯罪準備罪(共謀罪)」法案について、本議会では意見書提出の発議がありました。意見書は、「共謀罪は市民社会と人権に重大な悪影響を及ぼし自由にものを言え

ない戦前の治安維持法の再来となる危険な法案である」という内容でした。採決の結果、賛成8名、反対9名で否決されました。

反対討論

治安維持法の再来と危惧されているが、法案の趣旨が異なっている。国政においてはより慎重な審議を望む旨を意見書に明記すべきとの思いから、撤回を求める意見書の提出には反対である。

村松 信一

反対討論

慎重審議を求める必要はあるが、当議会で一度も議論されていない本法案に対し、否のみを主張して撤回を求めるのは危険な判断であり、意見書の提出に反対する。

廣田 清実

賛成討論

テロ対策は既に整備済みの法案で対応できるものである。本法案は運用次第で社会の不安を招くおそれがある。本法案は撤回すべきであり、賛成する。

山崎 道夫



各委員会構成

定例会4月会議、5月会議において、常任委員会など各委員会の構成が新たに定められました。各委員会の委員長も選任され、2年間の新たな活動をスタートしました。

議会で決めたこと

総務常任委員会

町の行財政に関し、他の委員会に属さない事務の調査及び議案、請願、陳情等の審査を行います。

委員長	小川文子
副委員長	川村農夫
委員	廣田清実
//	長谷川和男
//	藤原由巳
//	廣田光男

委員長	高橋七郎
副委員長	水本淳一
委員	齊藤正範
//	藤原梅昭
//	山崎道夫
//	藤原義一

産業建設常任委員会

農林・商工、道路河川・上下水道等に関する事務の調査及び議案、請願、陳情等の審査を行います。

教育民生常任委員会

教育・福祉分野に関する事務の調査及び議案、請願、陳情等の審査を行います。

委員長	村松信一
副委員長	高橋安子
委員	赤丸秀雄
//	昆秀一
//	川村よし子
//	米倉清志

新たな編成で



議会運営委員会

議長の諮問に関する事項及び、議会の会期日程や議会運営などに関する事項についての調整を行います。

委員長	川村農夫
副委員長	藤原梅昭
委員	廣田清実
//	村松信一
//	山崎道夫
//	高橋七郎
//	小川文子

委員長	昆秀一
【広報分科会】	
副委員長	齊藤正範
委員	赤丸秀雄
//	水本淳一
//	小川文子
【広聴分科会】	
副委員長	藤原梅昭
委員	廣田清実
//	高橋安子
//	村松信一

広報広聴常任委員会

議会広報紙の編集、インターネット等の活用、議会報告会や各種団体との意見交換の企画を行います。

予算決算常任委員会

予算・決算及び基金の設置など、予算の根幹に関わるものの審査を行います。

委員長	山崎道夫
副委員長	小川文子
委員	議長及び委員長、副委員長を除く議員 15名

防災ラジオ導入へ

6月会議では、農業委員会定数条例の全部改正のほか、消防ポンプ車の取得などが議決されました。また、一般会計の補正予算が計上され、総額は約11.1億1185万円となりました。

補正予算

主な内容は次のとおりです。

主な歳入

- ▽岩手企業局クリーンエネルギー導入支援事業費補助金 500万円
- ▽緊急防災・減債事業債 5120万円

主な歳出

- ▼公民館建設事業補助金 1000万円
- ▼農地耕作条件改善事業 2億4287万円
- ▼防災ラジオ整備事業 8748万円
- ▼住宅改修事業 1060万円

南昌公民館の建設

質問 南昌公民館の建設について、地元とはどのような協議をしてきたのか。

回答 南昌太鼓などを保存していたこともあり、備品関係の予算などが不足していることは把握している。地元の負担を少なくする方法として、まずは建物をつくり、備品については徐々に揃えていくことなどを相談している。

農地改善事業は

質問 農地改善事業は始まったから年数が経過しているが、ほ場整備が終わっている地域で暗渠整備に申請があった場合などの優先順位はどうなるのか。

回答 整備を終えての年数などではなく、要望のあった営農組合、認定農業者と協議し、実際に現場を見て優先順位を決定していく。



防災ラジオ導入に向け、使用方法などの住民説明会が行われました

緊急時の伝達手段は

質問 緊急時の屋外放送が聞こえにくい位置におり、防災ラジオを購入しない方へはどう対応する予定か。

回答 エリアメール、わたまるメール、ヤフー防災などを利用して緊急放送の対応をしていく。

現在屋外放送が聞こえにくい地点については平成30年度以降に屋外放送塔の設置を予定している。

LED化の取り組み

質問 防犯灯をLED化すれば明るくなることから、間隔を広げることで防犯灯の数を減らし、設置箇所を増やすことも可能なのでは。

回答 防犯灯の設置は各自治会の判断によるもので、防犯灯の高さ、照度など様々な要因によって広げられる間隔も変わってくる。一定のガイドラインを作成することは可能だと考えている。

住宅改修の内容は

質問 町営住宅の改修内容は。
回答 前郷住宅11戸分の窓枠サッシの交換を行う。

条例

農地耕作条件改善 事業分担金徴集条例

今年度から矢巾町が農地耕作条件改善事業の実施主体となることを踏まえ、事業を実施する上で必要な分担金を徴収するための条例が制定されました。

農業委員会定数条例

農業委員会等に関する法律の改正に伴う条例の改正です。主な変更点は、農業委員の選出方法が、公選制から市町村議会の同意を要件とする市町村長の任命制になった点です。農業委員の定数は、改正後も現在と同じ16名となります。

財産の取得

消防ポンプ 自動車の購入

23年を経過した消防団第3分団第12部の消防ポンプ自動車を更新します。購入金額は

1998万円で、11月の納車を予定しています。

凍結防止剤散布用 車両の購入

冬期間における路面凍結による事故を未然に防ぐため、融雪剤を町道に散布します。凍結防止剤の塩害による腐食が著しいため一台を更新するものです。納車は1月の予定です。

質問 1月納車予定では既に道路も凍結している時期だと考えられる。もう少し早い時期での納車はできないのか。

回答 契約業者にもなるべく早い時期での納車を要望していきたい。

議員発議

交通に関する調査 特別委員会を設置

議会では、特別委員会を設置し、岩手医科大学附属病院移転に伴う関連道路の整備に関する調査、交通弱者対策に関する調査、公共交通に関する調査などを行い、課題解決のための政策提言を行います。

特別委員会の最終報告

4月会議では、付託事件に関する調査を終えた2つの特別委員会を廃止しました。

新しいまちづくり 調査研究特別委員会

新しいまちづくり調査研究特別委員会は、岩手医科大学附属病院の移転開業、土地利用の問題、第七次矢巾町総合計画の策定及び検証について、新しいまちづくりという地方創生の観点において総合的に調査研究する必要があることから、平成27年6月会議において設置されました。

いじめ対策調査特別委員会

一昨年、中学生が自ら命を絶つという重大事案が発生しました。

「なぜ大人は子どもを守ることができなかったのか」「どうしたらいじめを防止することができるのか」こういった問いに対する調査、対策を講じるため、平成27年7月会議において特別委員会が設置されました。

特別委員会では事案発生後の対応や、第三者委員会の報告など、途中経過や提言内容、いじめ防止条例などに関し質疑や協議を行ってきました。

「矢巾町いじめ防止対策に関する条例」について特別委員会が審議した結果、「2年を目的として条例の検討を行い、条例の改正その他必要な措置を講ずること」を附則に加え、修正案を議決し、同条例が制定、施行されました。

更新予定の凍結防止剤散布車



みなさんからの請願

▽町道森線の照明設備

設置の請願
 請願者
 室岡行政区長 室岡 良春
 紹介議員 米倉 清志

▽安全・安心の医療・介護実

現と夜勤交替制労働の改善
 を求める請願請願者
 請願者
 岩手県医療労働組合連合会
 執行委員長 中野 るみ子
 紹介議員 川村 よし子

全員賛成

採択

審査意見

矢巾中学校の移転に伴い、西部不動産地区から町道森線を通って通学する中学生が増加している。

県道から西側の町道森線には照明施設が少なく、クラブ活動を終えて帰宅する生徒から「この道路は日没後は暗闇となり、通るのがとても怖い」との声が多く寄せられている。

中学生の安全安心を確保するため、通学路として適切な照明設備を設置することを求める本請願の趣旨は理解できるところから、採択すべきものとした。

全員賛成

採択

審査意見

現在の医療・介護現場は、医療安全への期待の高まり、介護を必要とする高齢者の増加などで、医療・介護従事者は長時間過密労働となり、労働環境は悪化し離職者も後を絶たず、深刻な人手不足になっている。

看護師など夜勤交代制労働者の労働条件を抜本的に改善し、安全・安心の医療・介護を実現することが必要であり、請願の趣旨は理解できるところから採択すべきものとした。

各議案の採決状況

平成29年定例会 4月会議

議案番号	提出議案	議員名																採決結果			
		赤丸 秀雄	水本 淳一	廣田 清実	高橋 安子	齊藤 正範	村松 信一	昆 秀一	藤原 梅昭	川村 農夫	山崎 道夫	高橋 七郎	長谷川和男	川村よし子	小川 文子	藤原 由巳	藤原 義一		米倉 清志	廣田 光男	
議案38号	復興産業集積区域における固定資産税の課税免除に関する条例の一部改正 東日本大震災からの復興措置の適用期間の延長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可
議案39号	一般会計補正予算（第1号） 歳入歳出予算に5310万円を追加し、予算総額を107億5910万円とする	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可
発議案1号	「テロ等組織犯罪準備罪（共謀罪）」法案の撤回を求める意見書の提出	○	●	●	●	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	否
発議案2号	新しいまちづくり調査研究特別委員会の廃止	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可
発議案3号	いじめ対策調査特別委員会の廃止	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可

平成29年定例会 6月会議

議案番号	提出議案	議員名																採決結果			
		赤丸 秀雄	水本 淳一	廣田 清実	高橋 安子	齊藤 正範	村松 信一	昆 秀一	藤原 梅昭	川村 農夫	山崎 道夫	高橋 七郎	長谷川和男	川村よし子	小川 文子	藤原 由巳	藤原 義一		米倉 清志	廣田 光男	
議案40号	農地耕作条件改善事業分担金徴収条例の制定 事業を町が行う上で受益者から必要な分担金を徴収するための条例を制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可
議案41号	農業委員会の委員定数条例の制定 農業委員会等に関する法律の改正に伴うもの（定数は現行と同じ16名）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可
議案42号	職員の育児休業等に関する条例の一部改正 「養子縁組里親」の定義設定、待機児童の養育で育児休業取得が可能になった	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可
議案43号	消防ポンプ自動車の購入（消防団第12部）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可
議案44号	一般会計補正予算（第2号） 歳入歳出予算に約3億5275万円を追加し、予算総額を約111億1185万円とする	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可
発議案4号	交通に関する調査特別委員会の設置	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可
議案45号	凍結防止剤散布車の購入	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可
発議案5号	町道森線への照明設備設置を求める意見書の提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可
発議案6号	安全・安心の医療・介護実現と夜勤交替制労働の改善を求める意見書の提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可

○=原案に賛成 ●=原案に反対 可=可決 否=否決

注：廣田光男議長は採決に加わらない。

ズバリ 町政を問う



フラワータワー寄贈式にて（こずかた保育園）

一般質問

一般質問とは、議員が執行機関に対して、町政全般にわたる執行状況や将来に対する方針など、諸問題について質問を行い政治姿勢を明らかにするものです。

6月会議では11人の議員による一般質問が行われ、活発な議論が展開されました。

●昆 秀 一 議員……………P12

- ①図書センターの役割等と活性化
- ②特別支援教育のあり方
- ③民生児童委員の役割等
- ④クラウドファンディング他による資金調達の方法

●高 橋 七 郎 議員……………P14

- ①特定健康診査
- ②岩手医科大学総合移転
- ③農業委員会法の改正

●川 村 農 夫 議員……………P16

- ①矢巾町の各種協定
- ②地域課題へ取り組み策
- ③協働の道づくり

●藤 原 由 巳 議員……………P18

- ①平成29年度農業振興重点施策と予算執行計画
- ②人口増加に伴う全町民参加型行事のあり方
- ③地区担当職員制度導入に伴う担当職員の職務内容

●川 村 よし子 議員……………P20

- ①ごみ処理広域化計画
- ②就学援助制度関連

●小 川 文 子 議員……………P22

- ①スマートインターチェンジ整備事業関連
- ②介護事業
- ③ここかむ食堂

●村 松 信 一 議員……………P13

- ①新コースによる矢巾町ロードレース大会
- ②児童生徒の交通安全指導・教育
- ③矢巾町公共施設等総合管理計画

●赤 丸 秀 雄 議員……………P15

- ①町内公共交通網の整備
- ②町民総合体育館の屋根改修工事の取組み
- ③今年の敬老会の運営方法と準備内容

●高 橋 安 子 議員……………P17

- ①子育て世代活動支援の充実
- ②矢巾斎苑西側駐車場の西山斜面樹木伐採後の活用
- ③「音楽のまち」に関する今後の事業

●廣 田 清 実 議員……………P19

- ①今年度の地方創生事業
- ②ウエルネスタウンプロジェクト

●山 崎 道 夫 議員……………P21

- ①土地利用計画の具体的構想と実現
- ②まちづくり会社設立による町活性化対策
- ③町内小中学校教職員の多忙化解消に向けた働き方改革

※次ページからの各議員の質問と答弁は紙面の都合上、内容を要約して掲載しています。詳しい内容は、議会事務局にお問い合わせください。

図書館センターの活性化策は 地域の情報拠点として整備



こん しゅういち
昆 秀一 議員
(一心会)



開設から1年経過した図書館センターのさらなる活性化策を

質問 図書館センター移転から1年が経過した。この1年の利用状況と活性化策は。

教育長 旧公民館図書室に比べ、貸出人数約2倍、貸出冊数約3倍となっている。今後は地域の情報拠点として整備していく。

質問 学習スペースなど図書機能以外のセンターの役割についてはどう考えているか。

教育長 移転前の公民館図書室の時は学習スペースもなかった。現在はかなりの利用がある。図書機能以外の役割としては、利用者が親しめる企画に取り組んでいく。

インクルーシブ 教育啓発を

経験広め社会性を 養うため重要

質問 特別な支援が必要な児童生徒に対する相談支援事業所等関係機関との連携はどうなっているのか。

教育長 今年度は、小学校2校で特別支援学級を2学級増設した。

相談所等の関係機関との連携は、必要な場合は事業所に出向き情報交換を行っており、本人や保護者の要望に応えられるように就学の支援を引き続き進めていく。

質問 インクルーシブ教育がだいぶ浸透してきていると感じていたが、まだ理解が足りないと思われる事象を目にした。さらなるインクルーシブ教育や心のバリアフリーの啓発を推進していく必要があるのではないかと。

教育長 特別支援学級の交流は、在籍する生徒にとって経験を広め社会性を養い、好ましい人間関係を育てる上で重要である。今後も引き続き進めていきたい。

民生委員の なり手不足は 地区の状況を捉え 負担軽減を図る

質問 民生委員の役割と今後の超高齢化に伴う、なり手不足についての考えは。

町長 高齢化の進行に伴い、民生委員の活動増加が予想される。なり手不足に関しては、地区の状況などを捉え、さらに関係機関とも連携し、民生委員の負担軽減を図る。

※インクルーシブ教育：障がいの有無によらず誰もが地域の学校で学べる教育

新ロードレースの成功策は 町民一丸の応援体制が重要



むらまつ のぶかつ
村松 信一 議員
(矢巾明進会)

質問 第19回ロードレースが、10月1日役場庁舎を発着点とした新コースで開催される。一大イベントとして成功させるための秘策は何か。

教育長 多くの選手や町民の応援でレースを盛り上げる体制作りが重要と考える。

質問 県内外からの出場選手、家族、応援者を対象に旧矢巾中駐輪場を使用し農産物等の軽トラ産直を実施する考えは。

教育長 かつこうグラウンド北側は参加者の駐車場として使用のため考えていないが、参加者も地元も元気になる企画を検討していく。

質問 成功させるために、



煙山ダム発着コースで開催されていたロードレース大会

コース脇に花を植え、応援旗・アドバルーン・しいたけスープ・やはばおでんなどをふるまい、大会を盛り上げる工夫をしようか。

教育長 大会実行委員会にて、対象行政区などにも参加していただき検討したい。

通学時の交通 安全指導は 安全教室を開催

質問 自転車・徒歩通学の交通安全指導講習会に保護者・

スクールガードの参加も必要ではないか。

町長 警察官・交通指導隊による安全実技指導や、DVDを利用した安全教室を開催しているが、保護者・スクールガードにも声かけをしたい。

質問 交通安全対策として生活道路や学校施設付近の道路規制の見直しが必要では。

町長 煙山小学校付近、北高田保育園付近はゾーン30、矢巾中学校付近は速度規制を地区住民と協議して検討したい。

質問 子ども目線での通学路調査はしているか。

町長 各組織の代表が通学路で合同点検を実施している。

緊急に対処 すべき施設は 現時点ではない

質問 現在、緊急に対処すべき不備な施設はないか。

町長 体育館屋根改修工事と同様のケースはない。

特定健診の課題と対策は 働き世代の受診率向上を



たかはし しちろう
高橋 七郎 議員
(やまゆり会)



開院に向けて着々と建設工事が進む岩手医科大学附属病院

質問 40〜50歳代の受診率及び課題と対策は。

町長 平成27年度において、40歳代の受診率は22・5%、50歳代は35・3%で他の年代と比較して低い。

特に40歳代男性の受診率は、18・1%とさらに低く、働き

世代の受診率の低迷が課題である。受診しやすい環境が整えられていることを周知徹底し、対象年代を絞った個別訪問を強化することで受診率向上を目指す。

質問 受診率向上対策の考えはないか。

町長 特定健診・がん検診の受診・ウォーキングにポイントを付与するなど、気軽に楽しく健康づくりに取り組める仕組みの制度化や個人を対象とした健康表彰制度の創設を検討している。

岩手医大総合 移転の対策は

住居表示と 児童の安全対策

町長の安全対策

質問 岩手医科大学校舎及び附属病院の住所を医大一丁目〜二丁目に変える考えは。

町長 岩手医科大学以外にも必要性がある区域全体を総合的に判断して実施を前提に検討する。

質問 附属病院開院後の児童や歩行者の安全対策は。

町長 中央一号線に歩行者と自転車と分離した歩道を設けるほか、病院入口交差点への信号機や横断歩道の設置を要望している。

質問 町内に宅地開発の計画予定はあるのか。

町長 平成31年度に予定されている盛岡広域都市計画区域見直しに向けて、民間から相談を受けている。

農業委員の 選任方法は

町長が任命

質問 農業委員の選任方法と定数は。

農業委員会会長 法律の改正により公選制から市町村議会の同意を要件とする市町村長の任命制に変更となった。

農業委員会の委員定数条例で定員を16人とし、認定農業者を半数以上と定めている。

町内公共交通網の整備は 公共交通網形成計画を策定



あかまる ひでお
赤丸 秀雄 議員
(一心会)

質問 高齢者等から町内のバス利用が不便であり病院、買い物に支障があると耳にする。町の公共交通網整備をどう考えているか。

町長 今年8月をめぐりに、地域公共交通網形成計画の策定を考えている。その中で利便性向上を図れるよう検討している。

質問 議会でも特別委員会を設置して、公共交通の在り方を調査することとした。

今まで検討した内容の共有を図り、利用しやすい公共交通網整備に努めてはどうか。

町長 住民の交通手段を確保する点で考えは一致している。合同で取り組みを推進し、町

内の交通網の利便性を高めていきたい。

体育館屋根

補修の対象は

アリーナ部分を実施

質問 町民総合体育館の屋根改修工事の対象はアリーナ部分のみか。

柔剣道室部分は調査対象としているのか。

教育長 改修工事はアリーナ部分である。

柔剣道室は現在雨漏りはない。調査は柔剣道室を含めた屋根全体を実施する。

今年の敬老会 運営と内容は

3地区に分かれて

開催する

質問 今年の敬老会はどのような内容で開催するのか。

町長 9月16日に農村環境改善センターにて不動地区、17日に農業構造改善センターに



昨年田園ホールで行われた敬老会

て徳田地区、24日に町公民館にて煙山地区の敬老会を開催する方針である。

詳細は、地区ごとの実行委員会にて現在検討を進めている。

質問 飲食の提供、会場への送迎、アトラクション手配等、

町の支援はどのように考えているか。

町長 町社会福祉協議会と連携して取り組み、飲食等の経費負担や送迎用マイクロバス手配などは町で行う。

他は各実行委員会とも相談して決める。

大阪大学との協定の中身は フューチャーデザインの社会技術



かわむら あきお
川村 農夫 議員
(一心会)

質問 本町の各種協定は合計50協定ある。

その中で、大阪大学大学院および高知工科大学とのフューチャーデザインに関する研究交流協定の意図するものは何か。また、選定経緯は。

町長 フューチャーデザインとは、現世代のメリットだけでなく将来世代にとってのメリットも踏まえ、世代間利害対立を乗り越える事を目指す社会技術である。

今後の計画策定や評価に組み込むことは、世界に先駆けて取り組んでいるものであり、今後策定する計画に採用していきたい。

選定経緯は、大阪大学大学院から、本町の住民参加の取

り組みに注目し、申し入れがあったものである。

質問 富士大学と盛岡大学との連携の内容は。

町長 富士大学は、環境省関連の事業に関して技術的な助言を受けた。

盛岡大学からはナト・カリの開発に協力を得た。

地域課題への 取り組みは ご用聞き隊などで 対応する

質問 町が地域課題への対策として取り組んでいる町政懇談会、ご用聞き隊、地区担当職員の役割の違いは。

町長 町政懇談会は行政区全体のご用聞き隊は、地域の問題に関すること。

地区担当職員は、行政区長、コミュニティ会長から役場への窓口として迅速化を図るものである。



地域の課題を話し合うご用聞き隊(矢次行政区)

地域からの 道路要望は まずは 医大関連道路を

質問 地域からの道路整備要望

望への対応と、協働の道づくりの推進は。

町長 要望の道路整備は、医大関連プロジェクト事業の完了まで、予算化が難しくなっている。

協働の道づくりは、要望に従い、順次進めていきたい。

家庭的保育事業の対応は 盛岡市と連携し実施を検討



たかはし やすこ
高橋 安子 議員
(町民の会)

質問 年度初め、本町の保育園の待機児童はゼロであったが、その後の状況は。

町長 5月末12人待機している。産休明けの母親が仕事に復帰する1、2歳児が多い。

質問 待機児童対策として身近に利用できる保育ママの普及を図り「家庭的保育事業」に対応する考えはないか。

町長 家庭的保育事業は、一定数の受講による安全な保育技術の習得が必須である。保育ニーズに応えるため盛岡市と連携し実施に向けた検討を始めている。

質問 町として子どもや高齢者を対象に「子ども食堂」の



保育ニーズが高まっている町内保育園(やはば保育園)

ような安価で料理を提供しながら交流できる食堂をつくる計画はないか。

町長 現在、旧町民食堂の改装を計画しており、利用できるかどうか検討したい。

一般質問 町政を問う

質問 矢巾斎苑西側
斜面に花を
花や低木の植栽に
取り組みたい

質問 矢巾斎苑西側駐車場に

隣接する斜面の木を伐採した。その跡地に、故人を送る遺族や知人の心をやすために、町の花であるユリを植栽してはどうか。

町長 送電線にかかるために樹木を伐採したが、参列者の心安らぐ場となるよう花や低木の植栽に取り組みたい。

**認知症の
予防に歌を
介護保険事業所の
会議で提案**

質問 認知症予防等に歌が有効だという説がある。町内の介護施設等の合唱音楽会を開催してはどうか。

町長 介護保険事業所会議などの機会を捉え提案したい。

質問 年に一度、誰でもステージに立ち、スポットライトを体験する田園ホールの開放日を設けては。

教育長 日程を設定して体験の場を検討する。

来年度からの米政策は 県と協議し8月までに示す



ふじわら よしみ
藤原 由巳 議員
(やまゆり会)



全行政区が参加して長年開催されてきた町民運動会(平成26年)

質問 長年にわたり実施されてきた米生産調整制度が本年度で廃止となる。

本町農業の根幹を成す米政策にどう取り組むか。

2年後には医大附属病院が開院し、交流人口の大幅増加が見込まれる中、農産物の販

販路拡大に向けた対策は。

町長 新たな米政策については、県農業再生協議会が定める主食用米の生産目安等を踏まえ、本年8月までに町としての方針を示す。

医大附属病院移転に関わる農産物の販路拡大に向け医大と農業・商工団体と協議を進める。

町民運動会は なぜ中止に 行政区長協議会 で決定

質問 本町において、本年開催予定であった、長い歴史のある町民大運動会が中止となったが、その要因は。

また、運動会に替わる町民総参加の行事をどう考えているか。

町長 昭和30年の三村合併以後、全町民参加型行事として開催されてきたが、行政区長協議会にて中止と決定した。

今後は、行政区長を含めた検討委員会を設置し、協議を

重ねていく。

また、全町民参加型行事としてスポーツ以外にも模索していきたい。

町のイベント 対応は

来年度に向け 意見を集約

質問 本町では、町長が先頭に立ち、春・夏・秋と季節に応じた祭りを開催し、多くの町民が参加し盛会裏に開催されてきた。

しかし、本年に入り、全てにおいて町が主導するのではなく、後方支援的な方法を模索するような提言もあったと聞いているが、どのように検討しているのか。

町長 来年度からは、町民の意向も確認しながら実行委員会に意見を集約する。

祭りごとに幹事会を設け、町民や町内企業等から運営ボランティアを募り、町全体で取り組むイベントを検討している。



ひろた きよみ
廣田 清実 議員
(町民の会)

今年度の地方創生事業は 町民センター食堂の改修など

質問 今年度の地方創生事業として、町民センター食堂の改修が行われる。

タイムスケジュールや事業内容について、費用負担も含めて問う。

町長 改修内容は、町民が集える飲食スペース、物販スペース、多目的スペースを設ける予定。

タイムスケジュールについては、6月末までに事業者の選定を行い、8月から改修工事に入り、年内の完成を目指している。費用は地方創生拠点整備交付金を利用し、一部町負担を考えている。

質問 Koboパーク宮城(宮城球場)で開催を予定しているプロ野球試合での本町

のPR活動の事業内容は。

町長 PRイベントとして8月10日に開催される、楽天対日本ハム戦を矢巾町が冠協賛試合として行う。内容としては球場内で、矢巾町産品やふるさと納税のPRを行うほか、スタジアムの内部で映像によ

る観光誘客等を行う。

また、7月1日開催の薬王堂杯に出場した本町の少年野球選手を招待し、始球式やインング間のアナウンス等を行う予定である。
費用負担については、冠協賛の費用が約380万円と



改修予定の町民センター旧食堂(田園ホール隣)

なっている。

質問 ふるさと納税の返礼品の希望状況は。

町長 平成28年度は、米が最も多く全体の52%、続いて、さんさそばが15%となっている。今年度は5月末現在で、肉が78%、次に、米が11%となっている。

ウェルネス タウン事業は セミナーを開催し 創業を支援

質問 昨年度ウェルネスタウンプロジェクト事業が実施されたが、事業内容と委託金額、その成果は。

町長 委託金額は4395万6000円となっている。事業内容は、プロジェクト全体の総合マネジメント支援などである。その成果は、創業支援セミナー3回、料理教室2回を開催し、参加人数は述べ71人であった。誘致企業は、現在1社と交渉中である。

ごみ処理広域化の実施は 広域化は平成41年以降



かわむら
川村 よし子 議員
(日本共産党)

質問 ごみ処理の広域化の場
所選定について、5月30日に
市内4カ所の建設候補地が示
された。

盛岡・紫波地区環境施設組
合の長寿命化事業の借金返済
と重なり経済的住民負担とな
らないか。

町長 長寿命化事業は、平成
29年度と30年度で約35億円と
なり、町負担は約5億円の見
込みとなる。交付金措置があ
り、実質的な町負担は約3億
円となる見込みである。

質問 現在、盛岡・紫波地区
環境施設組合に4億5000
万円を負担している。このほ
か平成27年度からごみ処理広
域化計画のため年間500万



環境体験学習、施設見学等も行われる環境まつり(環境施設組合清掃センター)

円を負担しており、平成29年
度は人員増のため600万円
の負担となっている。
地域のごみは各自治体で処
分する方が、経費が掛からな
いのではないか。

町長 処理場の場所によって
は運搬費や周辺住民に迷惑が

かかるなどの問題があるが、
人口減少が進む中では広域化
は必要と考えている。広域化
は平成41年度以降のことで十
数年以上先であり、未確定な
部分が多い。経費負担減のた
めに最も重要なことはごみの
排出量削減である。

質問 ごみの減量対策につい
ての考えは。

町長 ごみ減量推進員、自治
会と協力して取り組んでいる。
資源回収コンクールにより、
分別や回収意識の高揚につな
がっている。町内事業所へも
分別やごみ排出量削減を引き
続き啓発、協力を要請する。

入学準備金の 事前支給を 導入に向け検討

質問 文科省が3月末、都道
府県教育委員会に就学援助制
度について通知を出した。

町内の準要保護世帯の中小
学生対し入学準備金、援助単
価増額はできないか。

教育長 新入学児童生徒学用
品等は、要保護世帯同様に準
要保護世帯も増額していく。

質問 準要保護世帯の入学準
備金は事前に支給できないか。

教育長 家庭の経済的負担を
軽減できることから、導入に
向けて検討していく。

土地利用の構想と計画は 地区計画等で活用を検討中



やまざき みちお
山崎 道夫 議員
(一心会)



まちづくり会社での活躍が期待される地域おこし協力隊員の2名

活用を検討していきたい。

地区計画については、県の方針を検討しており、それが出された段階で、一般住宅建設地や企業誘致地などのエリアを定め、具体的な利用計画を策定したい。

また、不動産3社などの農業集落的土地利用ゾーンについては、来年度見直しとなる農業振興地域整備計画で、農業集落振興に有効となる土地利用を支援していきたい。

まちづくり会社 今後の予定は

6月中旬に設立総会を開きスタート

質問 まちづくり会社の設立について、今後の日程等を示されたい。

町長 一般社団法人「矢巾地域まちづくりコンソーシアム」として6月中旬にも設立総会を開く事としている。

今後、新規創業や既存企業の事業拡大の中間支援を行う他、収益性のある事業で自主

財源を確保するため、新たに「稼げる地域資源」の発掘や空き家の再生活用など、公共性の高いコミュニケーションなどを検討していきたい。

事務所は矢幅駅1階に整備し、公募で募集した1名と地域おこし協力隊2名を委嘱し今後、事業を展開していく。

教職員多忙化 解消に本腰を

委員会を設置し
改善に努めていく

質問 全国的に教職員の多忙化解消が課題となっているが、「無定量残業」等の解消と労働時間・健康管理を目的に話し合う会議の設置を検討されたい。

教育長 設置義務はないが、任意に煙山・不動・矢巾東小學校に、労働時間・健康管理・業務の偏り等を解消するための労働安全衛生委員会を設置しており、残りの3校についても設置に向け取り組んでいきたい。

質問 不動産地区の町有地3社を含めた土地利用について、具体的な構想や計画がなかなか示されないが、今後の取り組みを明らかにされたい。

町長 現在策定中の都市計画マスタープランの中で市街化調整区域内での地区計画等の

矢巾SIC工事費増額要因は 資材費、労務費高騰のため



おがわ ふみこ
小川 文子 議員
(日本共産党)



平成30年3月供用開始予定の矢巾S I C (矢巾P A西側)

質問 矢巾スマートインターチェンジ(S-I-C)は、平成29年度に本体工事が、平成30年度に関連道路整備が完了予定である。総事業費が約15億4000万と、計画より40%も増額となる要因は何か。

町長 詳細設計で附帯構造物

が確定したことや東日本大震災の影響で資材の高騰や労務費の増大、入札不調から工事費の割増しを行う復興係数が適用されたことがある。

質問 関連道路の整備内容は。

町長 町道堤川目線、安庭線、宮田線の2・8キロメートル

であり、今年度は交差点部を中心に整備し、田尻橋の架け替えを行う予定。

質問 救急車等の運行推計は。

町長 救急車の推計は行っていないが、車両は1日あたり約1900台と推計している。

質問 通学路の安全対策は。

町長 歩道、ガードレールとあわせ、信号機2カ所の設置を予定している。

これからの
介護予防は

シルバーハビリ
体操も

質問 介護保険制度の改正に

よる要支援1・2の利用者の新総合事業の取り組みは。

町長 新総合事業で訪問・通所介護事業を現行通り実施しており、一般介護予防事業はシルバーハビリ体操の普及に取り組んでいく。

質問 「やはば生活支援ネットワーク事業」の取り組みは。

町長 町内社会福祉法人の8団体で結成され、一人暮らしや高齢のみの世帯の買い物支援サービスを実施している。

ここかむ食堂
の支援は

持続できるよう
支援する

質問 一人親家庭の親子から喜ばれているここかむ食堂への支援は。

町長 母子寡婦福祉協会の会員が自主的に運営し食事を作っている。若手ボランティアも遊び等に協力している。自主性を尊重しながら支援していきたい。

私も



ひとこと!

経費削減も考えて

石川 次男さん(南矢幅1区)



議会を傍聴する筆者

議会を傍聴したのは3回目です。その日は私一人でしたが、町が進めようとしていたことが少しでも分かってよかったです。

岩手医科大学附属病院がまもなく移転してくるということで道路の整備が進められています。

特に印象に残ったのは、スマートフォンやチェンジオ建設はかなりのお金がかかるという

うことです。町がこれから発展していくために必要なこととは思いますが、経費を減らしていくことも考える必要があるのではないのでしょうか。

また、道路について、わたしの周りの道路の歩道に段差があつて足を痛めることがあります、これらのこともあわせて考えていただきたいと思っております。

懇談会開催速報

次回は10月開催予定

開催日	6月21日(水)	6月22日(木)	6月23日(金)
場所	広宮沢玉生会館	農業構造改善センター(土橋)	岩清水コミュニティセンター
参加人数	8名	11名	28名
寄せられた意見や感想	<ul style="list-style-type: none"> ・議長のとめ方が分かりやすくて良かった。(広宮沢・60代男性) ・参加人数は少なかったが活発な意見ができた。(広宮沢・60代男性) ・大変勉強になり参加して良かった。(土橋・70代女性) ・望むことが多すぎて困っています。(土橋・60代女性) ・初めて参加して楽しかった。(岩清水・70代女性) ・分かりにくい回答があり、今後どのように取り組めば良いか不安もあった。(岩清水・60代男性) ・活字で町政を知るより、議員の皆さんの思いや感情が伝わる良い懇談会だったと思います。(岩清水・60代男性) 		

タブレット端末を導入

議会では、議会改革の一環として、情報伝達など議会運営の円滑化やペーパーレス化を目指したタブレット端末を導入した議会が6月から行われている。

タブレット導入の費用は、年間約100万円で、そのうち通信費など7割が議員個人の負担となる。

経費としては、紙資料や印刷にかかるコストなど年間約30万円の削減につながる見込みである。

メリットとしては、議員個人の情報量が今以上にアップすることにより、審議をより一層深めていくことができるようになっていく。

今後、開かれた議会のツールとして、タブレットを利用していくことになる。

お詫びと訂正

やはば議会だより200号14ページで、写真の説明文に誤りがありました。誤「謝辞を述べられる小笠原重雄さん」正「謝辞を述べられる小原重雄さん」謹んでお詫びし、訂正いたします。



地域おこし協力隊

きく ち しょう
菊池 翔さん (矢巾3区)



ポタラ宮前(チベット)にて筆者

知らない世界への好奇心

4月から地域おこし協力隊として着任しました。なぜ、矢巾町の地域おこし協力隊になったのか。地元に戻り、地域を盛り上げていきたいと思ったからです！といったコメントが求められているのですが、どういっわけか来てしまったというのが正直なところです。

ナントカ隊が来たと聞くと、特殊能力を持った隊員が地域のために送り込まれてきたのだと思われるかもしれませんが、決してスーパーマンではありません。普通の人間です。

まずは地域のことを知るところから始め、自分は何ができるのかを模索していきたいと考えています。

写真は、去年チベットを訪れた際にドライ・ラマが住んでいたポタラ宮という建物の前で撮ったものです。チベットまでは、中国国内から電車で往復90時間かかりました。海拔5000メートル以上の地点も通ったため高山病になり、着いてしばらくはホテルで寝込んでいました。

なぜ、そこまでして行ったのか。たぶん、知らない世界を見てみたいという好奇心があったのだと思います。

協力隊になったのもそれに近いかもしれませんが、何をやるかはよくわからないけど、今までは違う景色が見えるかもしれないという好奇心。協力隊のことはあまり覚えていないようで、「えっと、何隊だっけ？」と聞き返されたり、資料にも「町おこし協力隊」と書かれていたり。正直、パツとしないネーミングですが、既に春まつりや農業体験をするなど、今までは違う景色を見つつあります。

本格的に活動が始まると、様々な形で地域の皆さんと関わりを持つことになると思います。至らない点も多々あると思いますが、よろしくお願いたします。

あ と が き

広報委員として、議会開催内容や議員活動、町民の皆様の声をわかりやすくお伝えしていきたいと思っています。

町民の生活と直結する各課題にしっかりと取り組んでいくことが求められております。

議員の責務を果たすため、気を引きしめて取り組んで参ります。

編集委員 小川 文子

表紙によせて

6月11日に行われた消防演習において、矢巾東小学校の児童たちによるマーチングが披露されました。息の合った演奏に、大きな拍手が送られました。



発行・編集責任者 議長 廣田 光男

編集委員

委員長	昆 秀一
副委員長	齊藤 正範
委員	赤丸 秀雄
	水本 淳一
	小川 文子

